

広域分散型社会の産業を支える広域交通ネットワークの構築

【戦略的目標『アジアに輝く北の拠点』、『地域力ある北の広域分散型社会』への対応】

『アジアに輝く北の拠点』では、「既存産業集積や技術的蓄積など地域の強みを活かした産業の育成を図るとともに、物流機能の強化や人材の育成などの条件整備を図ることが必要である」としているが、本州・北海道間の物流・人流には効率性や利便性に課題があり、食料供給においても、或いは、観光のポテンシャル発揮においても支障を来している。

また、『地域力ある北の広域分散型社会』では、「各地域において、高品質な農水産物を内外に供給する地域など、優れた特色ある地域資源を活用した地域づくりを進める」としており、広域分散の北海道において、各地域から本州への農水産品の効率的な輸送や、観光客が道内各地を安全・迅速に移動することが可能となるようなネットワーク構築を推進する。

「戦略的取組」
を取り巻く
現状・課題

- ・北海道は国土の2割を占める広大な地域に都市が散在する広域分散型社会を形成、都市間距離が全国の2倍、日常的に広域移動が必要
- ・北海道内の物流の9割が自動車による輸送、北海道～本州間の物流の9割が船舶による輸送に依存
- ・人口低密度の地方部において北海道の主要産業である農業の生産が行われており、また様々な地場産業が活動している。その競争力を高めるためには、農産品供給や原料調達を低コストで迅速に行う広域交通ネットワークが必要
- ・北海道内各地にはアジアでも有数の観光資源が存在するが、移動時間の長さの克服が課題となっており、道内各地への多様なアクセスの確保や高速で安全に移動できる広域交通ネットワークが必要

具体的
戦略

高速で安全に移動できる
道路ネットワークの整備

安定的・効率的な
海上輸送ネットワークの確保

観光に資する多様な
アクセスの確保

検討項目

- ・移動時間の短縮
- ・定時性・安定性の確保
- ・国際標準コンテナ車の隘路解消

- ・定期航路の物流効率化
- ・輸送容量の確保
- ・輸送時間の短縮
- ・コストの削減

- ・国際・国内航空路線の誘致・拡充
- ・クルーズ船の受入れ

施策
群

高規格幹線道路等の整備

経済の自立をリードする地域産業の振興

国際コンテナターミナルの整備

複合一貫輸送ターミナルの整備

国内物流ターミナルの整備

誘客対象を明確にした効果的な
プロモーション活動の実施

国際チャーター便の積極的な誘致

旅客船ターミナルの整備

施策群の連携機関：北海道、市町村 等

日本再興戦略との対応：立地競争力の更なる強化 等